

# 国語 「帰り道」 みんなの初発の感想

☆友達の考えを読んで、さらに自分が考えたこと、気付いたことを書いてみよう。

(似ている考え・感想はまとめて)

## 不思議に思ったこと…

- なぜ、律は周也が野球を始めてから一緒に学校に行かなくなったのだろうか？

## 二人の関係について…

- 二人とも仲直りしたい気持ちは一緒で、すなおになれない所が面白い。
- 律と周也にとって、天気雨にふられたことは、関係が変わるきっかけになったと思った。
- 律と周也は性格が反対で、おたがいすれちがってしまうけれど、最後にとつぜん天気雨がふってきた時、二人の心がすっきり洗い流されていって、私の心の中も軽くなった気がしてうれしかった。これからはおたがいのちがいをみとめ合い、もっと仲良くなれるんじゃないかと思う。
- 周也と律が話せるようになったのは、周也のお母さんのおかげだと思った。
- 多分、人間は似ているものに好感があり、似ていないものに好感はないと思う。例えばムカデ。人間は手足合わせて四本なのに対し、ムカデは三〇本くらいある。しかも平べったいなど、人間と違うから嫌いになるのだと思う。だから、同じ「笑う」という幸せを共有することで仲良くなれたと思う。
- おしゃべりは相手と一緒に成り立たないから、相手の考えを聞き、おたがいのペースを考えて話さなきゃいけないと思いました。
- 二人とも「言わない」と思っているものの、言葉に出せない。その二人の間が気まずかった。でも天気雨のおかげで律の言いたいことも言えて、ほっとしました。
- 二人とも相手を気づかう、優しい友達だと思った。それに二人とも相手の良いところを感じ合っていたし、自分の良くないところを直そうとしていたから、本当に仲の良い友達なんだと思った。
- あの天気雨がなかったら、二人のもやもやはとれていなかったと思う。

## 自分の立場で考えてみると…

- よけいなことを言ってしまう、謝ることもできず気まずいというのは、私にも経験があるので共感しました。
- 小さなことでも自分の考えがみとめてもらえないとモヤモヤするのが、自分と似ていると思った。友達と少しケンカや言い合いになった後の帰り道は、仲直りしようとして自分から話題をふってもなかなか返事が来ないと不安になるのが、自分と同じだと思った。周也と律、二人の思いに共感できた。
- 私も律のように一つを決めるといのがあまり得意じゃなくて、時々はつきりしないときがある。私は律に似ていたが、次は周也の見方から自分のことを考えるところどうなるか考えようと思う。
- 僕も人の気持ちを考えて、会話のキャッチボールをしようと思った。
- 自分が軽く言ったことでも、相手にとっては重く感じる言葉があるので、相手の視点を考えていきたい。

